

谷口博文の政策イノベーション



キャッシュレス先進国といわれる中国。確かに街角のアイスクリーム屋さんでも、QR読み取り機とスマホでテキパキ売ってました。現金でも買えないことはないですが、スーパーのように並ぶ人の多いところでは嫌がられるそうです。

会社の経費で食事したらどうなるか。スマホで決済できるのは代表一人で、ほかは法人の納税番号と当局のハンコがプリントされた領収書で会社に請求するとのこと。ペーパーレス時代でも紙が残るケースがあるかもしれません。

「そこまで面倒臭いことをやって手間をかけたんだったら間違いないだろう」・・・面倒臭さこそ信用の元とすれば、ビットコインのマイニングのように、デジタル世界でも同じことが言えます。しかし信用を得るのに紙やハンコ、直接対面のようなアナログの面倒臭さがこれから本当に必要なのでしょうか。

誰が押したかわからないハンコってなぜ信用できるの？ 本人確認のために住所地へ郵送するコストって無駄じゃない？ むしろ直接対面や電話を信用しすぎるからオレオレ詐欺が起きるのでは？

この5月にデジタル手続法が成立して、行政手続きはデジタルだけで完結できることになりました。といっても役所の現場では相変わらず山のような添付書類を紙で求める例が出てきそうです。前例に流れる担当者のマインドセットを早く替えてほしいと思います。

<https://newspicks.com/news/4029579/>